

氏名

ヤスナガ アイ
安永 愛

所属	歯学部 歯学科 口腔機能学講座 総合診療学分野		
職名	助教		
最終学歴	九州歯科大学大学院歯学研究科	学位	博士（歯学）

専 門 分 野		
教 育 実 績	担当講座名称	単位数 講義時間数 実習時間数 学科・院の別
	プロフェッショナリズムⅡ	2 単位 6.0 時間 時間 歯学科・口腔保健学科
	医療コミュニケーションⅠ	2 単位 4.0 時間 時間 歯学科
	医療コミュニケーションⅡ	1 単位 4.0 時間 時間 歯学科
		単位 時間 時間
	単位 時間 時間	
大学運営における主な 役職履歴（過去5年間）		
研 究 分 野		プロフェッショナリズム、歯科医学教育、口腔バイオフィルム
研究課題	課題名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科医学教育におけるプロフェッショナリズム教育の現状</li> <li>・ 生菌選択的なう蝕細菌定量法の開発と小児口腔内試料の解析</li> <li>・ 歯面初期定着菌群との共培養時におけるStreptococcus mutans抗酸化タンパク質の機能解析</li> </ul>
	キーワード (5つまで)	プロフェッショナリズム教育、医療コミュニケーション、歯科医学教育
	共同研究等の 実績	
研 究 業 績 (著書・発表論文等) (主 要 5 編)	Yasunaga A, Yoshida A, Morikawa K, Maki K, Nakamura S, Soh I, Awano S, Ansai T. Monitoring the prevalence of viable and dead cariogenic bacteria in oral specimens and in vitro biofilms by qPCR combined with propidium monoazide. BMC Microbiol. 2013 Jul 13;13:157.	
	Yoshida A, Niki M, Yamamoto Y, Yasunaga A, Ansai T. Proteome analysis identifies the Dpr protein of Streptococcus mutans as an important factor in the presence of early streptococcal colonizers of tooth surfaces. PLoS One. 2015 Mar 27;10(3):e0121176.	
産学官連携実績 (主 要 3 件)		
産学官連携 可能・希望分野		
取得した実用新案特許等 (主 要 5 件)		
所 属 学 会 (主 要 5 件)		日本歯科医学教育学会、日本総合歯科学会、日本歯科医療管理学会、日本口腔衛生学会、九州歯科学会